

風の子便り



【保育理念】

心豊かな子どもを育てる

2025年2月号

社会福祉法人のゆり会

たかさご保育園

<http://www.takasago-hoikuen.com>

「育ての心」 倉橋惣三(くらはしろうぞう)

日なたがなければ子どもは生きない。
しかしまた、日なたばかりでも
子どもは生きられない。
日なたに生き、日かげにかばわれて
生きる子どもではある。
わたしたちも、子どものために、
一ぱいの日なたとなると共に、
よき日かげにも
なってやりたいものだ。



日なたのありがたい季節です。
子どもたちは毎日の生活や遊びの中で、たくさんの人や物とかかわり、
五感を働かせ、何より心を動かし、たくさん経験を重ねています。
「親が出来ることはほんの少しだけ・・・」と何かで読んだことを思い出します。
それでも子どもたちは大人に命を預けながら今を生きています。
私達も多くの方々にかけとなり日なたとなり支えられてきた様に、
子ども達の泣き、笑い、くやしき、喜びなど一緒に味わっていただけたらいいなと感じています。

【こころの鬼 退治したよ！】

今年も幼児クラス（りす、ひつじ、ぞう組）で豆まき集会を持ち、紙芝居を読んで、節分の意味を子ども達に伝えました。クラスで作った鬼のお面や三方を紹介した後、みんなの心の鬼退治をしました。蒔く豆は、昨年から紙を丸めて作った豆と福娘からもらった金の豆を投げて豆まきをしています。

りす組から順番に張りぼての鬼に豆を投げていましたが、ぞう組さんが投げていると…なんと本物？！の鬼の登場に慌てて散り散りに走り出したぞう組の子ども達でしたが、小さいクラスのお友だちの声援を受け、力を合わせて、庭を駆け回る青鬼をなんとかお庭から追い出してくれました。ありがとうぞう組さん！心の鬼を退治して、一安心の子ども達です。

保育園の豆まきは、豆まきの意味を紙芝居やお話を聞いて知り、一人ひとり自分たちの「心の中にいる鬼」を考え退治します。子ども達が自分の心を見つめる機会にもなっています。

豆まき日の昼食は、節分にちなんで、大豆を炊き込んだ「やこめ飯」や「イワシ」を食べました。

今年も1年元気で過ごせますように…

＼ 鬼はそとー！福はうちー！／
保育園から出て行けー！



【2月生まれのおともだち、おたんじょうびおめでとう！】

園内の全体掲示板でご紹介しています。うさぎ、りす、ひつじ、ぞう組の誕生会をご家族も見学できます。

2025年2月		
1	土	
2	日	
3	月	ちゅっちゅこっこ（りす、ひつじ、ぞう）
4	火	
5	水	つくしんぼの会見学会
6	木	
7	金	
8	土	つくしんぼの会（りす、ひつじ、ぞう）
9	日	
10	月	ちゅっちゅこっこ（ひよこ、ばんび、うさぎ） ピカピカデー
11	祝	
12	水	乳児誕生会（うさぎ夕方〜）
13	木	つくしんぼの会集合写真（りす、ひつじ、ぞう）
14	金	クッキング（ぞう）
15	土	災害伝言ダイヤル
16	日	
17	月	ちゅっちゅこっこ（りす、ひつじ、ぞう）
18	火	3園交流（ぞう） 0才児健診（ひよこ）
19	水	誕生会（ひつじ、ぞう）食事会（ひつじ、ぞう）
20	木	住吉小学校交流（ぞう）
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	卒園式練習（ぞう）
27	木	ひなまつり会食会（りす、ひつじ、ぞう）
28	金	卒園写真撮影（ぞう）

